

## マーケットの動き（2022年9月26日～9月30日）

先週の国内株式市場は、前週末比で下落しました。

世界的なリスク回避の動きを受けた欧米長期金利の上昇による米国株式の下落に伴い、国内株式も下落してスタートしました。BOE（英国中央銀行）が英国長期国債の買い入れを表明したことから欧米長期金利が低下し、国内株式にも買い安心感が広がりましたが、その後米国株式が年初来安値まで下落すると国内株式にも波及し、日経平均株価は心理的な節目とされる2万6000円台を下回って週を終えました。

## 投資環境見通し（2022年9月）

## 設備投資拡大、経済活動正常化に向けた政策支援を受け、底堅い展開

企業業績については、先送りされていた設備投資の拡大に加え、中国経済の緩やかな持ち直し、輸出企業の想定為替レートを上回る円安水準などから、当面は底堅く推移するとみています。国内株式相場は、原材料高によって収益が圧迫される可能性があります。株価の割安感に加えて、設備投資の拡大、新型コロナ関連では水際対策の緩和といった経済活動正常化に向けた政策支援に支えられ、底堅い展開を予想しています。

	9月30日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	1,835.94	▲4.18%	▲6.73%	▲6.69%	▲9.57%
日経平均株価	25,937.21	▲4.48%	▲8.01%	▲7.46%	▲11.94%

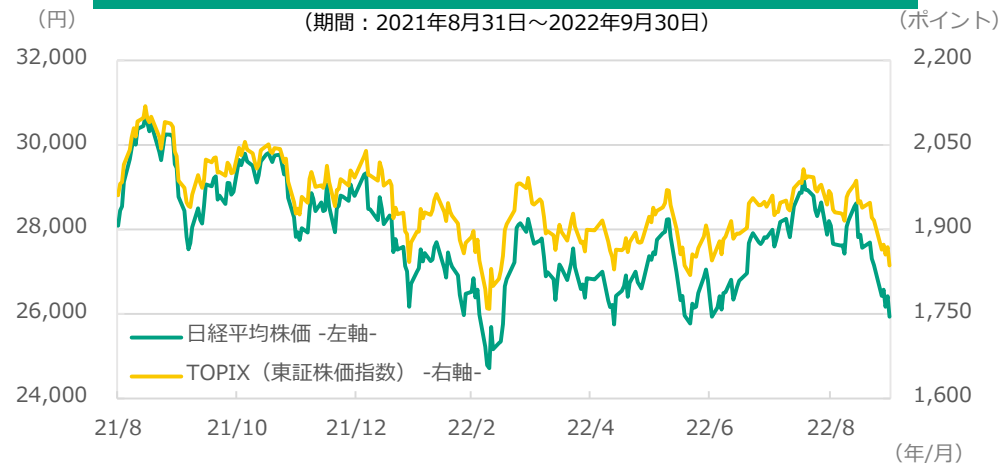
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

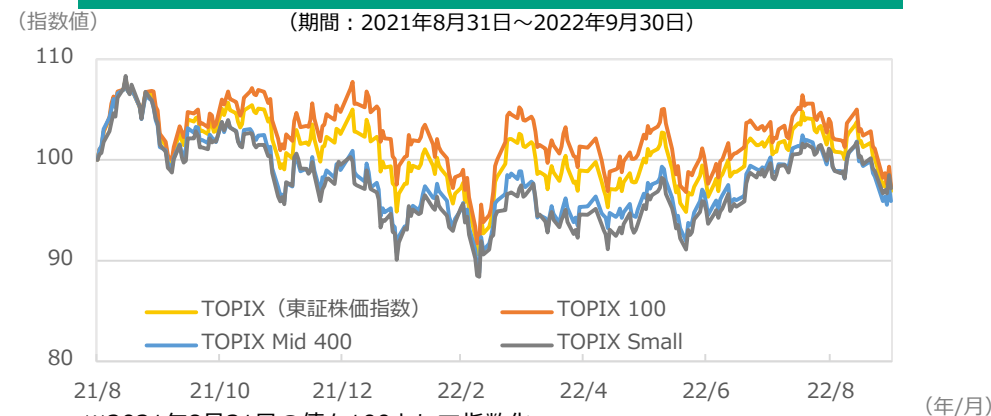
[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202209\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202209_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目録見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 日経平均株価、TOPIXの推移



## TOPIX規模別指数の推移



※2021年8月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成